

書名		2 東 書
項目	新編 新しい算数	
特 色	内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○絵や写真を多く使いそれを図にして考えるなどのステップを多く取り入れたり、穴埋めを多く取り入れたりしている作りになっており、基本的な考える手順を児童に示している。 ○問題の裏に解答がくるようになっている。 ○練習問題が充実しており、大事な問題には色がついていてわかりやすい。 ○1年生の①はA4版サイズ書き込み式と大きさや様式も変えている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○数学的な見方・考え方のヒントが吹き出しで示されている。 ○問題の解き方の考え方が比較されていて、考え方の違いを説明するような数学的活動の工夫がある。 ○単元終わりの「算数の目」で数学的な見方・考え方の視点を与えている。 ○ノートの例を出して、考え方をどのように書くかを示している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○日常生活の身近な題材を多く取り入れ、発展させ、課題解決をするための根拠を明確にして説明する数学的活動の楽しさ味わう問題解決策の工夫がある。 ○単元によって「いかしてみよう」のトピックスで日常生活との繋がりを示している。 ○導入が日常生活の中の問題を扱っているので考えやすい。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○数学的な見方・考え方のヒントQが明示されており学習に見通しをもたせる工夫と問題解決していく上で吹き出し等を利用して数学的な見方をはたかせる工夫がある。 ○場面設定と問題が長くなる場合分けて提示されている。</p>
	資 料	○子どもたちの身近な題材（家庭・学校や社会など）を取り上げたものが使われておりイラストや写真の分量が丁度よい。 ○1年生は教科書上で今まで以上に操作しやすくなった。 ○QRコード「dマーク」の活用方法が充実している。
	表記・表現	○問題に番号がついていて、大切な問題は網掛けされている。 ○数学的な見方・考え方のヒントが吹き出しで示されている。 ○「今日の問題」の字の大きさや強調がしてあって区別されている。
総 括		○日常生活と関わりの中で、子どもたちに数学的な見方・考え方を働かせることを意識した工夫が多く盛り込まれており、興味・関心を持たせ、考え方の視覚化や比較・検討の例示などで自己の考えを表現・活用しようとするのできる児童を育む構成である。

書名		4 大日本
項目	新版たのしい算数	
特色	内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○復習の問題を多く取り入れている。 ○問題の裏に解答がくるようになっている。 ○補充問題「プラス・ワン」で一人一人の学習状況に応じた問題が示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○巻末に、図のかき方や考え方の既習事項が書かれている。 ○単元にある「じっくり深く学び合おう」で自分の考えを表現する活動が示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○数学的な見方・考え方を働かせるための「ひらめきアイテム」などが示されている。 ○「算数たまてばこ」で、日常生活との関わりを示している。 ○学習した内容を生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできるように工夫されている</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○単元にある「じっくり深く学び合おう」で数学的活動の手順を示している。 ○具体的な操作活動を通して、数量や図形に進んで関わり、算数の学習を楽しみながら取り組めるように工夫されている。</p>
	資 料	○身近な内容を取り上げ社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○数学的活動に使う資料のページが設けられており、切取用にミシン目が入っている。 ○図や表は色づけされ、書き込める。
	表記・表現	○各時間の課題・めあては強調されていて、まとめは囲みで示されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントは、吹き出しや囲みで示されている。
総 括	○学習の「めあて」と「まとめ」がわかりやすく示されており、児童の考え方に焦点を当てた「発見！考え方」を設定し、知識・技能的なまとめと考え方に焦点をあてたまとめに分けた構成である。	

書名		11 学 図
項目	みんなと学ぶ 小学校 算数	
特 色	内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○書き込み式問題集のような作りで、取り組みやすい。 ○振り返りの問題を広げて次の学習に結びつけ発展させている。 ○基礎計算やグラフ処理技能を使つての主体的な学習活動を促す指導の流れになっている</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○導入が日常の生活場面での対話場面から算数を考えさせている。 ○ノートの例を出して、考え方をどのように書くのかを示している。 ○他者の考えを読み取ったり共有したりする活動が取り入れられている。 ○大切な数学的な見方・考え方をモンスターで例示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○算数の活用を目指した問題構成になっている。 ○「ふかめよう」のトピックで、学習内容を活用したり発展的な学習に取り組んだりできるように工夫されており、算数をいかす場面を紹介している。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○「図をかく・読み取る」を重視した作りになっている。 ○問題発見から解決過程の中で、「知りたいな、考えたいな、工夫したいな」など、算数の問題として考えていけるような学習の流れになっている。 ○数学的活動の手立てとなる考え方モンスターの例示を示してある。</p>
	資 料	○イラストを使った問題が多い。 ○図や表は色づけされ、書き込める。 ○全学年に、数学的活動に使う資料のページが設けられている。
	表記・表現	○本時の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。 ○本時の課題・めあてはマークで強調され、まとめは囲み示されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で示されている。
総 括	○各学年の巻頭では、「3つの学びの力を育てよう」が設定されており、思考力・判断力・表現力等の具体的な力が示されており、身に付けたい数学的な見方・考え方が学年ごとに整理されおり、可視化してある。また、思考の流れと見方・考え方が示してある。	

書名		17 教出
項目	小学算数	
特色	内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○問題数を多く取り扱っている。 ○学習のめあてとまとめ、問い、新たな問題と問題が充実している。 ○単元の導入が「～しよう」「いくつですか？」という問い形式で工夫されている。 ○問題は種類別に色がついている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○説明の仕方を例示し、穴埋め方式で考えさせている ○問題・発見の過程を「はてな→なるほど→だったら」の吹き出しで示し、児童の「問い」の連続で学習を進められるように工夫されている。そして、多くの単元のまとめには、学んだ算数を活用する活動を取り入れられている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「ふりかえろう」で、4コマ漫画を使って、考えた場面を振り返っている。 ○単元末の「学んだことを使おう」「算数ワールド」「算数を使って考えよう」「広がる算数」「身のまわりの算数」「算数ミニクイズ」は、学習を広げたり実生活との関わりに触れたりする工夫がある。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○「学んだことを使おう」では、身の回りの事象から算数を見付けて、日常の問題を算数を使って解決できるように工夫がある。 ○各領域ごとに数学的な見方に焦点を当てた「算数のミカタ」を設けたり、「考えるヒント」を掲載したりして、自分で学習に取り組めるような工夫がある。</p>
	資 料	○実物の写真を使った問題が多い。 ○6年生の教科書は一冊にまとめられている。 ○図や表は色付けされ、書き込めるようになっている。
	表記・表現	○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。 ○各時間の課題・めあて、まとめは囲みで強調されている。
総 括	○児童の問いを重視し、その問いを協働的に解決し、更に新たな問いに向かうことを意識できる構成になっている。 ○「算数のミカタ」では各領域の数学的な見方を示しており、「算数で使いたい考え方」では、各学年で生かしたい数学的な考え方が示してある。	

項目		書名 わくわく 算数 61 啓林館
特色	特 内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「もっとれんしゅう」のページで類題演習を多く取り扱っている。 ○練習問題が充実している。 ○本時のめあてが示されており、それにつながる子供たちの気づきや考えを吹き出しで示しているのよい。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○操作活動がある場面では写真で提示されていたり、イラストを大きくしてわかりやすくしめされている。 ○図のかき方など「しりょうしゅう」のページで考え方をまとめている。 ○問題の提示が簡潔でわかりやすい</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「わくわく算数ひろば」のページで、日常生活の場面とのつながりを示しており、児童が学習に取り組みやすくなるように工夫されている。 ○「学習の進め方」「わくわく算数学習」では、算数の学び方が明示されており、児童が学習に取り組みやすくなるように工夫されている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○生活や学習での経験や具体的な操作を通して生まれた疑問を算数の問題とし、「学びのめばえ」を示して、めあてにつながる活動を分かりやすくするように工夫されている。</p>
	資 料	○身近な内容や社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。 ○数学的活動に使う資料のページが各学年に設けられている。 ○図や表は色付けされ、書き込めるようになっている。
	表記・表現	○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲みになっている。
総 括	○児童自ら問題を見つけ、見通しをもって解決しようとし、他者と考えを共有し、よりよい解決方法を見つけようとすることを重視している。 ○問題の答えを求めることだけでなく、「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」を意識した構成になっている。	

書名		116 日 文
項目	小学算数	
特 色	内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「算数マイトライ」のページで「しっかりチェック」「もっとチャレンジ」「もっとジャンプ」でステップを踏んで類題を設定している。 ○単元の導入が「～しよう」という問い形式で工夫されている。 ○問題の裏に解答がくるようになっている。 ○簡単な問題には色がついている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童が問題を作る場面を取り入れた工夫がされている。 ○「わかっているかな」「まちがいやすい問題」のページで、考え方を確認している。</p> <p>○数学的な見方・考え方を働かせる際の手掛かりとして、「カギマーク」で具体的に示している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「なるほど算数」のページで、単元と日常の場面をつないでいる。 ○「学び方ガイド」では児童が話し合ったり学習を振り返ったりすることができるように工夫されてあったり、学習の途中や単元末、巻末には、発展的な学習に取り組んだり日常生活と結び付けて考えたりすることができるように工夫されている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○学校生活に関するイラストから算数の問題を見いだしたり、お話作りをしたりする活動を取り入れ、数量や図形に進んで関わられるように工夫されている。 ○問題解決の過程において「学び合おう」の場面を利用して、考えの伝え合いをしたり、巻頭の「算数ノートをつくろう」において、「学び合い」という項目で、友達の良い考えや方法を書いたりしている。</p>
	資 料	○6年生の教科書は一冊にまとめられている。 ○写真が子どもの吹き出しになっている。
	表 記・表 現	○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。 ○各時間の課題・めあてはマークで強調され、まとめは囲みで強調されている。 ○数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲みになっている。
総 括		○基礎的・基本的な力の確実な定着を重視し、繰り返し考えたり確認したり、算数が苦手な児童も使いやすい教科書を意識した構成になっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、児童が筋道立てて考え、算数の言葉で伝え合えるような構成になっている。

